

市之川鉱山学び教室【西条市】

～ふるさとの素晴らしさを知り、ふるさを愛する子どもを育てよう～

◆活動の目的・理念 過疎に負けない村づくり

- ふるさとに世界に誇りうるものがあることを知る。
- できるだけ具体物に接する。

活動場所	西条公民館 市之川公民館 西条高等学校 加茂川	対象学校区名	西条市内全域の 小・中・高校生	活動のべ 日数	10 日	子どもの平均 参加人数	14.3 人/日
開催日数 曜日・時間	木曜日	1 日	20 : 30 ~ 21 : 30	活動のべ 日数	10 日	土曜教育活動 推進員のべ人数	10 人
	金曜日	1 日	15 : 40 ~ 16 : 40				
	日・休業日等	8 日	9 : 00 ~ 11 : 00				
土曜教育サポーターのべ人数	4 人	市之川鉱山の未来を考える会		ボランティア のべ人数	0 人		
参加者募集	市内の全小・中・高等学校にチラシを 配布	連携・協力 機関・団体	市之川鉱山の未来を考える会				

取組の概要

<主な取組内容>

- 市之川鉱山や輝安鉱について学ぼう。
ビデオプロジェクターを活用し、子どもたちにも分かる内容にしぼり、できるだけ具体的に説明することに努力した。ポスターや輝安鉱の結晶など、実物を間近で見せることにより、より臨場感を高めるように努力した。
- 千荷坑を見学し、鉱山資料室で学ぼう。
市之川鉱山を代表する坑口の一つである千荷坑を間近で見ることや、鉱山資料室の展示物を見ることにより、鉱山が稼働していた頃の人々のくらしの様子や仕事の厳しさ等を肌で感じる事ができた。さらに、世界に誇る輝安鉱の結晶の実物や写真等を見ることができた。
- 輝安鉱のついた石を探そう。
実際に河原を歩き、輝安鉱の含まれていそうな石を探し、自分の手で割るという体験活動を通して、石を割ることの大変さを体感することができた。さらに、自分でハンマーを振って石を割り、輝安鉱を見た時の感動は恐らく一生忘れることのできないものである。



(講演会)



(千荷坑前)



(加茂川で)

児童・生徒の感想

- ・自分の住む西条市に「世界一」のものがあることを初めて知った。
- ・坑夫さんたちの大変さを感じる事ができた。
- ・自分で輝安鉱を見つけた時の感動は素晴らしい。

<特色ある取組>

- 輝安鉱を見つけよう。
加茂川は市内を縦断する大きな川です。そのような身近な所に輝安鉱を含む石があることを知る市民は少ない。歩きにくい河原の中を輝安鉱の含まれていそうな石を探して約一時間半。子どもたちにとっては、さぞ大変な作業であったことであろう。それゆえ、輝安鉱を見つけた時の喜びはまた最高であろう。理屈でなく、体を使って学んだことを大切にしてほしいものである。他の場所ではできない貴重な体験である。



岩一面の輝安鉱

事業を実施して

【成果】

- 自分の住む地域に「世界一」のものがあることを知ってもらえた。
- 自然に興味をもってもらうことができた。

【課題】

- 参加者をもっと増やさなければならない。
- 小学生にももっとよく分かるように説明する。